Printed in Japan 2016/2 CC-6000A-B
274-0725-00

Clarion

取付・取扱説明書

RC15D

車載用リアビジョンカメラ

このたびはクラリオン製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
●この「取付・取扱説明書」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
●保証書はお買い上げの販売店で記入いたしますので、「お買い上げ日・販売店」などの記入をご確認のうえ、大切に保管ください。

<お客様へのお願い>
本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店での取り付けをおすすめします。

<販売店様へのお願い>
取り付け完了後、この「取付・取扱説明書」をお客様にお渡しください。

クラリオン株式会社
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ
http://www.clarion.com

お問い合わせは、クラリオン「お客様相談室」へ
フリーダイヤル 0120-112-140
受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）
保証書で以下内容をご確認頂くと、スムーズな応対ができます。
お買い上げ日、販売店名、製品型名

安全上のご注意　必ずお守りください

運転者や周囲の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容（表示・図記号）をよくご理解されてから本説明書をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。

⚠警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

（禁止）	してはいけない内容です。
（実行）	必ず行っていただく内容です。
（注意）	注意しなければならない内容です。

■お取り付けになるときの注意事項

⚠警告

（禁止）
- **本機を車載用以外では使用しない**
  本機は車載用カメラです。車載用以外で使用すると、故障や火災、感電、事故の原因となります。
- **本機を前方側方確認用として使用しない**
  本機は後方確認用（鏡像）カメラです。用途以外で使用すると事故の原因となりますので、前方側方の確認用として使用しないでください。
- **分解や改造をしない**
  分解、改造、ケーブルの被服を切って他の機器の電源をとることは絶対におやめください。故障や火災、感電、事故の原因となります。
- **ケーブルにキズをつけない**
  キズついた部分から本機内部に湿気や水が入り込み、故障や火災の原因となることがあります。
- **取り付けやアース配線に、車の保安部品※を絶対に使わない**
  ※ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット
  制御不能や発火、事故の原因となります。

（実行）
- **配線作業前に、バッテリーの⊖端子を外す**
  外さずに作業をすると、ショートによる故障や火災、感電、事故の原因となります。
- **ケーブル類は、高熱部を避けて引き回す**
  ケーブル類の被覆が溶けてショートし、故障や火災、事故の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。
- **取り付けや取り外しは、専門技術者に依頼する**
  故障や火災、事故の原因となります。お買い上げの販売店に依頼してください。
- **取付・配線作業後は、車両の電装品※が正常に動作することを確認する**
  ※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど
  車両の電装品が正常に動作しないと、火災や感電、事故の原因となります。

⚠警告

（実行）
- **車外にカメラを取り付ける際は、法律で規制されている範囲内となるように取り付ける**
  歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。
- **車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、これらと干渉や接触をさせない**
  パイプ類などの破損により、故障や火災、事故の原因となります。
- **ケーブル類は、運転操作の妨げとならないように引き回し、固定する**
  ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻付くと事故の原因となります。

⚠注意

（実行）
- **取付説明書にしたがって、取り付けや配線をする**
  誤った接続をすると、故障や火災、事故の原因となることがあります。
- **取り付け後、モニター映像が鏡像（バックミラーと同じ映像）になっていることを確認する**
  設定を誤るとモニター映像の左右の確認を誤り、事故の原因となることがあります。
- **必ず付属品や指定の部品を使用する**
  指定以外の部品を使用すると、本機の破損や脱落などにつながり、故障や火災、事故などの原因となることがあります。
- **ケーブル類は、結線終了後クランプや絶縁テープで固定する**
  ケーブル類が車体部分との摩擦により、すり切れてショートし、故障や火災、事故の原因となることがあります。
- **車体に穴を開けて配線を行うときは、保護チューブまたは絶縁性グロメットを使用する**
  開口部とケーブル類との摩擦により、すり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
- **車体に穴を開けて取り付けや配線を行うときは、開けた穴の隙間やケーブルとの隙間をシリコン接着剤などで密封する**
  排気ガスや水などが隙間から室内に侵入し、事故などの原因となることがあります。
- **ケーブル類は、車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさみ込まないように引き回す**
  断線やショートにより、故障や火災、感電、事故の原因となることがあります。
- **落下させる、たたくなど強い衝撃を与えない**
  故障や火災の原因となります。
- **ネジを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける**
  ネジがゆるみ、故障や事故などの原因となることがあります。

■ご使用になるときの注意事項

⚠警告

（禁止）
- **モニター映像だけを見ながら運転することは絶対にしない**
  モニター映像は、障害物などの確認のための補助装置であり、映し出される範囲には限界があります。実際の距離と感覚が異なりますので、必ず目視による安全確認をしながら運転してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、重大事故の原因となります。
- **故障や異常のまま使用しない**
  映像が映らない、煙が出る、変な臭いするなどの場合は、直ちに使用を中止し必ずお買い求めの販売店に相談してください。そのまま使用すると故障や火災、感電、事故の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない**
  万一、本機内部に水が入った、異物が入った、煙が出る、変なにおいがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると故障や火災、感電、事故の原因となります。

（実行）
- **ゆっくりした速度で後退する**
  本機は広角レンズを使用しています。映し出される映像は実際の距離と感覚が異なりますので、速度を上げての後退は人や物にぶつかる恐れがあり、重大事故の原因となります。

⚠注意

（禁止）
- **本機を水中で使用しない**
  本機を水中で使用すると、本機内部に水が入り、故障や感電、事故の原因となります。
- **取付け後、本機をたたくなど強い衝撃を与えない**
  本機の取付角度が変わり、正常な映像が映し出されなくなります。また、本機は精密機械のため衝撃を与えると、故障や火災、感電の原因となることがあります。

（実行）
- **高圧洗浄機による洗車時は、高圧水を本機に直接あてない**
  本機の脱落やネジのゆるみにより、破損や故障の原因となることがあります。又、本機内部に水が入ると故障や火災、感電の原因となります。
- **取付ネジは時々点検し、ゆるみが有る場合は増し締めをする**
  ネジのゆるみにより本機が外れて落下し、歩行者への接触や事故の原因となることがあります。

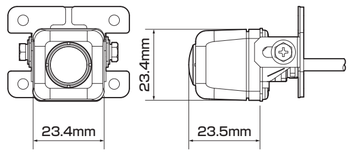
（注意）
- **本機のモニター映像は、お客様の車のバックミラーと同じ様に左右反転します。また、車両によっては、視野角度が異なる場合がありますので、ご注意願います**

特　長

- 水平約 162 度の広角新レンズでワイドな視界を確保
- 確かな品質、信頼の防水試験 IPX9K に合格
- 高感度の新型 CMOS センサー搭載
- カメラに強い光が映りこんでも、スミア（画面に発生する縦の光の帯）の発生なし
- 後方確認に最適な、バックミラー同様に左右反転した鏡像映像
- 電源 BOX 不要で取り付けが容易
- クラリオン製合適機種とダイレクト接続が可能

仕　様

映像素子	：1/3. 6 インチカラーCMOS
映像出力	：NTSC鏡像
有効画素数	：約31万画素
画　角	：水平　約162° 垂直　約108°
走査方式	：2:1 インターレス525 本
絞り方式	：電子アイリス
同期方式	：内部同期
レンズ部	：広角　焦点距離　f=1.11mm　F 値 2.6
IR カットフィルター	：有り
水平解像度	：350 本TV 本以上(中心部)
照度範囲	：約2 lx ～ 10 万lx
SN 比	：36db 以上(AGC-ON)
動作温度範囲	：－30℃～＋70℃
防水構造	：IPX9K準拠
電源電圧	：DC5V ～ 9.5V
接地方式	：マイナス接地
消費電流	：100mA 以下
質　量	：約130g(本体ケーブル、取付ブラケット含む)
外形寸法(W×H×D)	：23.4(W) ×23.4(H)×23.5(D)mm (コネクタ部/ 突起物は含まず)
ケーブル長さ	：本体3m ／延長ケーブル(同梱)7m(計10m)



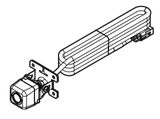
※定格、仕様及び外観は改善のため、予告なく変更する場合があります。

ガイドライン表示機能について
- ガイドライン（モニター画面に映し出す目安線）の表示機能は、本製品（カメラ）ではなく接続機種（AV 機器など）側に搭載されている機能です。
- ガイドライン表示を行う場合は、本書とガイドライン機能付き機種の取扱説明書に記載されている注意事項をご覧になり正しく安全にお使いください。

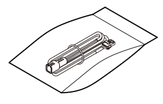
構成部品

■ 本機の構成部品は以下のとおりです。
万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店に申しつけください。

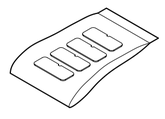
① カメラ本体(ケーブル長3m)



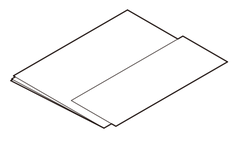
② 延長ケーブル(7m)



③ ケーブルホルダー…4



④ 書類一式（保証書･取付説明書）



故障かなと思ったら

■ 次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度次の点をお調べください。

症　状	原　因	処　置
映像が映らない	配線が不完全	結線をもう一度確認し、正しく配線をしてください
映像の映りが悪い	レンズが汚れている	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを取り除いてください。 乾いた布で強くこすると傷が付くことがありますので、ご注意ください。
	太陽光や他車のヘッドライトの光がレンズにあたっている	レンズにあたっている光が消えれば、もとに戻ります。
	周囲が暗すぎる	夜間または暗所では映りが悪くなる場合がありますが、明るい場所になればもとに戻ります。
	周囲の明るさが急激に変化した	◦明るい場所から暗い場所へ移動時（特に炎天下の日向から日陰へ移動した時など）に画面が暗くなる場合がありますが、しばらくするともとに戻ります。 ◦暗い場所から明るい場所へ移動時（特に炎天下に長時間駐車した後、日陰から日向へ移動した時など）に画面が明るくなりすぎる場合がありますが、しばらくするともとに戻ります。

お手入について

■ レンズ部が汚れているときは、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
■ レンズ部を磨き粉などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります
■ ベンジンやシンナー類、アルコール類、自動車用クリーナーなどは、使用しないでください。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店にて所定事項に記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行致しませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

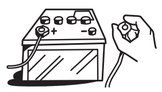
■補修用性能部品の最低保有期間について

このカメラの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後6年間です。

取付 / 接続方法

■取付前のご注意

ご注意



●配線作業前に、バッテリーの⊖端子を外してください。外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。
●中継ケーブルは傷付防止のため車内を通してください。やむをえず車外配線を行う場合は、木の枝などへの引っかかりや、ケーブルのばたつきを押さえるため、確実に車体へ固定してください。また、コネクター部の接続は確実に行うと共に、水のかかりにくい所に設置してください。
●各ケーブルを配線する場合は、エンジン、エキゾーストパイプ、トランスミッション等の高温部、クーリングファン、オルタネータ等の回転部や雑音発生源からできるだけ離し、コルゲートチューブをかぶせ、クランプ等で固定してください。
●各ケーブルは、同軸線を内蔵した特殊ケーブルですので絶対に切断しないでください。
●車両を焼付塗装する場合は、必ず塗装後に各ケーブルの配線を行ってください。

●通し孔の金属部や板金の切断面、ケーブルに傷をつけやすいところには、保護チューブまたはグロメット等を使用して保護してください。また、内部ショートの原因となりますので、強くねじったり、曲げたりするなど、ケーブルにダメージを与えないように配線してください。万一、外皮に傷がつきますと防水性が損なわれますので注意してください。
●カメラ本体をケーブルでぶらさげたり、ケーブルを引っ張ったりすることは、絶対にしないでください。防水性能が低下したり、ケーブルが断線したりし、故障の原因となります。
●カメラは振れ防止のため強度の確保できる位置に取付けてください。また、強度がとれない場合には、適切な補強をしてください。
●泥はねや排気ガス等でレンズ表面が汚れやすいところへの取付けは避けてください。
●事前にガムテープなどを使ってカメラを仮留めし、モニターで映像を確認してから取付位置を決めてください。
●ガイドライン位置合わせ等につきましては、ガイドライン機能付き接続機種の取扱説明書をご覧ください。

■両面テープによる取付け時のご注意

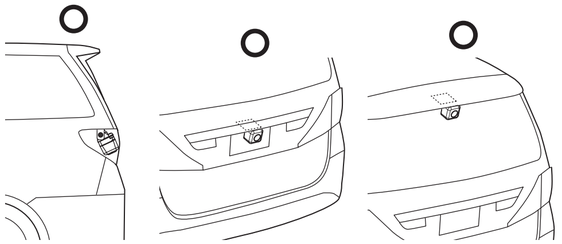
ご注意

●貼付ける箇所(車両)の汚れや埃を市販のクリーナーなどできれいに拭き取ってから、作業してください。
●はっ水加工(フッ素樹脂処理など)されたボディやガラスには取付けないでください。
●リアワイパーの拭き取り範囲やウォッシャーの噴射口付近には取付けないでください。
●両面テープの粘着力低下を防止するために、以下の事項をお守りください。
- 極力天気の良い日中に取付ける。
- 取付け後、24時間以内は水気(水、雨、霧、雪など)にあてたり、無理な力を加えない。
- 取付け時の気温が低いとき(20℃以下)は、取付ブラケットの両面テープと車両取付表面をヘヤードライヤーなどで暖める。
- 取付ブラケットの両面テープを指で触ったり、貼り直したりしない。

■バックカメラの正しい取付例 / 誤った取付例

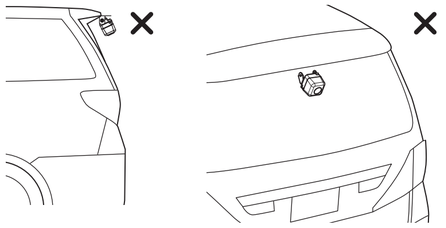
カメラの正しい取付例

●カメラ本体はバックドアガーニッシュの奥側に隠れるように取り付けてください。



カメラの誤った取付例

●カメラ本体が車両に対し、隠れない場合は不適合となりますのでお取り付けなさらないようお願いいたします。



■リアガーニッシュにカメラを取付ける

取付例を参照し、カメラ及び取付ブラケットが車体へ干渉しないことを確認して、取付位置を決めてください。

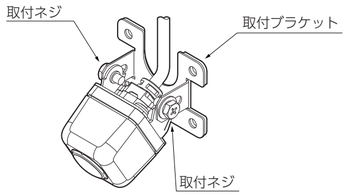
1 カメラの取付位置を確認する

車両の取り付けたい位置に合わせてカメラの角度を調整します。
この時、カメラが車体や車両部品などに干渉していないことを確認してください。
取付位置は凹凸がない、平らな面を選びカメラ取付ブラケットの両面テープ面が密着するか確認してください。

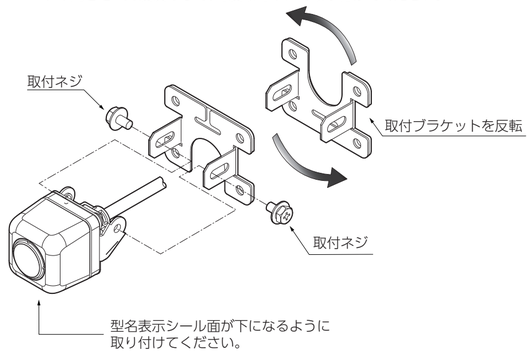
⚠注 意
- カメラがナンバープレートに掛からないように取付けてください。
- カメラをできるだけ車体の中心に取付けるようにしてください。
左右に大きくずれて取り付けた場合、モニター画面に映し出される映像とイメージが異なる場合があります。
- 開閉時にバックドアやトランクが、カメラやケーブルと干渉しないことを確認してください。

2 取付ブラケットを車両に取り付ける。

取付ブラケット横の取付ネジをゆるめ、カメラの角度を調整して取付ネジを締めてください。
取付ブラケットを貼付ける箇所(車両)の汚れや埃を市販のクリーナーなどで拭き取った後で、取付ブラケットの両面テープ保護紙をはがし、車体に取付けます。
※ 事前にガムテープなどでカメラを仮留めし、モニターで映像を確認して取付位置を確認してください。



※ 取付位置によりケーブルがカメラと干渉する場合は、取付ネジをはずし取付ブラケットの向きを180度反転して、再度取付ネジで取り付けてください。



⚠注 意
- カメラの位置を調整する際には、カメラから出ているケーブルが突っ張りすぎたり、たるみすぎないように注意してください。
- 時々取付ネジの緩みがないか確認し、緩みがある場合は増し締めをしてください。
- クリーナーでカメラを拭かないでください。傷が付いたり、レンズが白く濁ることがあります。
- 取付ブラケットの両面テープ保護紙をはがす前に車両の取付部形状に合わせて取付ブラケットを曲げ、すき間ができないようにしてください。

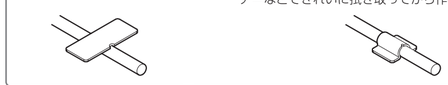
3 ケーブルを配線する

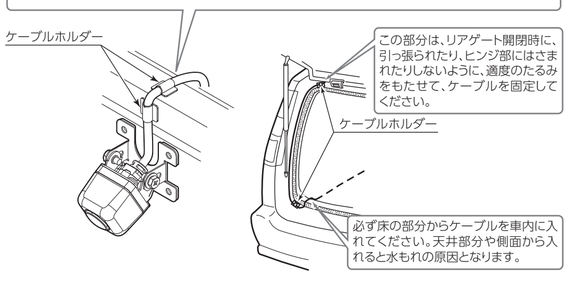
① カメラのケーブルを車内に引き込み、ウェザーストリップにそって配線します。ヒンジ部やダンパーなどにはさみ込まないように付属のケーブルホルダーを使用して固定します。
② 付属の延長ケーブルを使用して、車内の床(カーペットの下など)をはわせて配線します。

ケーブルホルダーの貼り方

ケーブルホルダーの凹部をケーブルの中央に合わせます。

ケーブルホルダーをケーブルに巻き付けるようにして車体に貼り付けてください。
※事前に貼付ける箇所(車両)の汚れや埃を市販のクリーナーなどできれいに拭き取ってから作業してください。





■設置場所がなくリアウインドウなどに取り付ける時は

設置場所がなくリアウインドウなどに取り付ける時は、下記の「重要　車載用リアビジョンカメラの取り付けに関するご注意」をよくご覧になり、正しく取り付けてください。

⚠重要　車載用リアビジョンカメラの取り付けに関するご注意

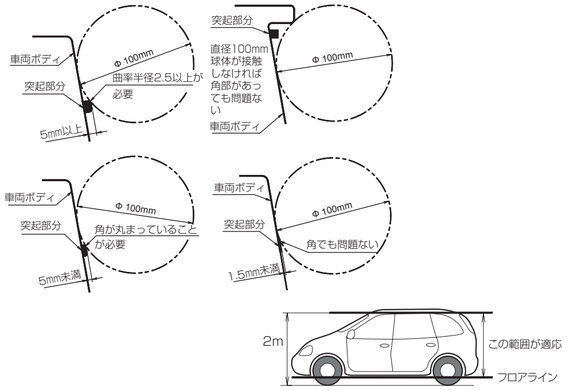
法規の改正

●2009年1月1日以降に製作された乗車定員10人未満の乗用車に車載カメラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準(※)」に準拠した取り付けが必要となります。取付位置に一部制限が発生する場合がありますのでご注意下さい。

「外装の技術基準(※)」(抜粋)

自動車の外部には、衝突時又は接触時に歩行者等に傷害を与えるおそれのある形状、寸法、方向又は硬さを有するいかなる突起を有してはならない。

適応外となる部位
- 高さ 2 m以上の部分
- フロアラインより下の部分
- 直径 100mm の球体が接触しない部分
- 曲率半径が 2.5mm 以上となっている部分
- 突出量が 5mm 未満で突起の外向き端部に丸みが付いている部分
- 突出量が 1.5mm 未満の部分
- 突起の硬さが 60 ショア（A）相当以下となっている部分



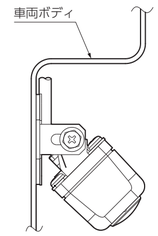
対象車種

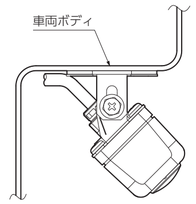
●2009年1月1日以降に製作・登録された乗用車。
(乗車定員10人未満の、専ら乗用の用に供する自動車)
なお、2008年12月31日までに製作・登録された車につきましては対象外となりますが、新基準に準拠した取り付けをおすすめ致します。
※法規の詳細は国土交通省のホームページをご参照下さい。
国土交通省　ホームページ
http://www.mlit.go.jp/index.html
>> 自動車交通 >> 自動車ユーザーのみなさまへ >> 保安基準等
- 保安基準等関係基準の各条文検索一覧表〔保安基準〈自動車〉〕(PDF ファイル 758KB)
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/kokujitou_index.pdf
- 第 18 条　細目告示別添 20 外装の技術基準（PDF ファイル 166KB)
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/saimokubetten/saibet_020_00.pdf

取付推奨位置（ご参考例）

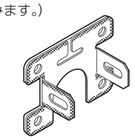
●ライセンスプレート（ナンバープレート）周辺等車両ボディの凹部で、ナンバープレートの視認性を妨げない場所への取付を推奨します。

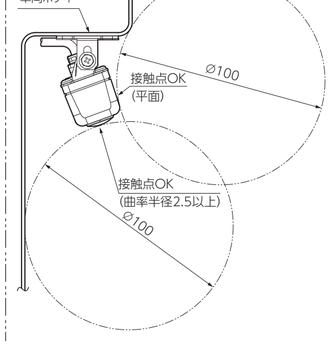
⚠注 意
- 取付例を参考にし、車体の幅、長さからはみ出さないことを確認してください。
- カメラをやむを得ずリアウィンドウに取り付ける場合は、視界を妨げない位置、リアワイパーの拭き取り範囲、ウォッシャーの噴射口付近には取り付けないでください。
- カメラの取付位置、取付角度によっては映し出される映像の見え方が異なり、ガイドライン目安線表示と実際の距離にずれが生じる可能性があります。事前にガムテープ(布テープ)などでカメラを仮留めし、モニターで映像を確認し取付位置を決めてください。

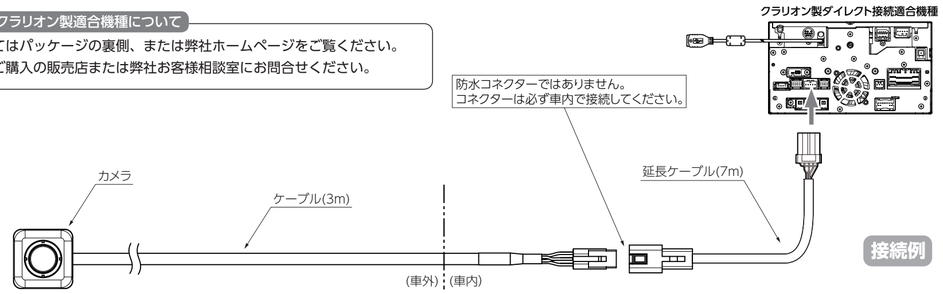




▩ で示した箇所が、曲率半径が 2.5mm以下の部位です。ご注意ください。(反対側も含みます。)





システム接続例

ダイレクト接続が可能なクラリオン製適合機種について
- 適合機種につきましてはパッケージの裏側、または弊社ホームページをご覧ください。
- 適合機種の詳細は、ご購入の販売店または弊社お客様相談室にお問合せください。